



# ヨーロッパ映画紀行

企画展



2017 1.20 金 - 3.12 日



# ヨーロッパ映画紀行

企画展観覧料 一般：200円(140円) / 小・中学生：100円(70円)

※( )内は20名以上の団体料金



○『大人は判ってくれない』(1959年)



○『天井桟敷の人々』(1945年)



○『汚れなき悪戯』(1955年)



○『ひまわり』(1970年)

チラシデザイン/李潤希 協力:東京国立近代美術館フィルムセンター

## 企画展概要

このたび、鎌倉市川喜多映画記念館が皆様に贈るヨーロッパ映画を巡る旅、企画展「ヨーロッパ映画紀行」をご案内します。

旅立ちを前に今一度、思い出の映画を振り返ってみましょう。外国が遠い雲の上の存在だった時分、パリの下町を舞台にした『巴里祭』や、ウィーン会議を背景にした『会議は踊る』など、文化・芸術の薫り高いヨーロッパ映画は人々を魅了しました。やがて戦争が終わり、復興途上で公開された『第三の男』は、戦争の傷を背負った日本人の心に深く染み入り、多くの人の記憶に残る作品となりました。

ジェラルド・フィリップからアラン・ドロン、ソフィア・ローレンからカトリーヌ・ドヌーヴまで、ヨーロッパを代表する名優たちと、歴史的な街並みを背景に彼らが繰り広げる名場面の数々…。ヨーロッパへの憧れはアメリカ映画『ローマの休日』などにもよく表れています。また『旅芸人の記録』や『ベルリン・天使の詩』など、より多様な映画との出会いをもたらしてくれたミニシアター文化は、私たちに新たな土地を巡るきっかけを与えてくれました。

ヨーロッパ映画は、今なお人々の憧れであり続けています。さて、そろそろ出発の時間です。懐かしの映画との再会、そして新たな作品との出会いの旅へ一緒に出かけてみませんか？

### <特別上映> 1月28日(土) 13:30

【モンパルナスの灯】上映+トークイベント (約40分)

「G・Pの魅力と映画配給の仕事」 山中陽子さん(セテラ・インターナショナル代表取締役社長)

G・P(ジェラルド・フィリップ)に惚れ込み、彼の映画を上映するため(!)に配給会社セテラ・インターナショナルを設立した山中陽子さんをお迎えし、G・Pの魅力や山中さんの情熱、そして映画を配給するという仕事について語っていただきます。大切だけど見えにくい配給という仕事について知る貴重な機会をお見逃しなく!

料金：一般1500円 小・中学生750円  
チケット発売日：12月17日(土)

### <特別上映> 2月11日(土・祝) 13:30

【ニュー・シネマ・パラダイス】上映+ミニコンサート (約30分)

「声とギターで聴く映画音楽」 秋元勇気(Citta)さん

“旅を楽しむようにヨーロッパ映画を巡る”がコンセプトの本企画展、映画にとって欠かせない要素である《音楽》をテーマに、もう少し映画の旅を続けてみませんか?鎌倉・湘南を中心に活動中のシンガーソングライター 秋元勇気(Citta)さんの声とギターで、「禁じられた遊び」や「ムーン・リバー」、「男と女」など映画が生んだ極上の名曲たちをお楽しみください。



料金：一般1500円 小・中学生750円  
チケット発売日：1月21日(土)

### <ギャラリートーク> (参加無料、企画展のチケットが必要です)

日時：2月25日(土) 15:45~(約40分)

グラフィックデザイナー

小笠原正勝さんと巡る企画展ツアー

「ヨーロッパ映画ポスター紀行」

1960年代より、映画や演劇などジャンルを横断したグラフィックデザインを手掛け、日本のポスターデザイン史にその名を残す、小笠原正勝さんの解説で企画展を回ります。

戦前から戦後にかけて数多くの欧州映画ポスターを手掛けた野口久光さんの作品から、ヌーヴェル・ヴァーグが台頭した1960年代、そして小笠原さんご自身の作品まで、ヨーロッパ映画のポスターについて、デザイナーの立場からより踏み込んだ解説をしていただきます。



○『旅芸人の記録』(1975年)

映画鑑賞料金

一般 1,000円 小・中学生 500円

※映画鑑賞券のご提示で企画展もご覧いただけます。  
※販売枚数に達した場合、当日券の販売はございません。

チケット発売日

1月の上映作品 - 12月17日(土) 3月の上映作品 - 2月18日(土)

2月の上映作品 - 1月21日(土)

チケットのお取り扱い店/記念館窓口・たらば書房・島森書店(鎌倉店)・上州屋(大船駅前)

旅情

1月24日(火) 10:30/14:00  
25日(水)、26日(木) 14:00



1955年/イギリス/カラー/DCP/100分  
監督:デヴィッド・リーン  
出演:キャサリン・ヘプバーン、  
ロッサノ・ブラッツィ、イザ・ミランダ

念願の海外旅行で1人ベニスを訪れたアメリカ女性が、現地の男性と恋に落ちて…。水の都ベニスを舞台に、恋愛に臆病な独身女性が当時48歳のキャサリン・ヘプバーンが魅力たっぷりに演じた至上の恋愛映画。2人の別れは語り継がれる名場面となった。

モンパルナスの灯

1月27日(金) 10:30/14:00  
28日(土) 13:30、29日(日) 14:00



1958年/フランス/白黒/DCP/108分  
監督:ジャック・ベッケル  
出演:ジェラルド・フィリップ、アヌーク・エーメ、  
リノ・ヴァンチュラ、リリー・ノルマー

生前評価を得ることなく35歳で死去した夭折の画家モディリアーニの苦悩と悲運を、フランス映画界の貴公子ジェラルド・フィリップが見事に演じた伝記映画。奇しくも翌年、彼自身36歳の若さで亡くなっている。アヌーク・エーメの清楚な美しさが華を添える。

○28日13:30の回(特別上映)

木靴の樹

2月7日(火) 10:00/14:00  
8日(水)、9日(木) 13:30



1978年/イタリア/カラー/DCP/187分  
監督:エルマンノ・オルミ  
出演:ルイジ・オルカー、フランチェスカ・モリツィ、  
オマール・プリニョッリ

19世紀末、イタリアの農村を舞台に、貧しい生活を強いられながらも大地と共に力強く生きる4家族を描き、カンヌ映画祭で最高賞のパルム・ドールを受賞した名作。ドキュメンタリー的手法で描かれる過酷なリアリズムの中に監督の優しい眼差しが注がれる。

※途中休憩あり

ニュー・シネマ・パラダイス

2月10日(金) 10:30/14:00  
11日(土) 13:30、12日(日) 14:00



1989年/イタリア=フランス/カラー/DCP/123分  
監督:ジュゼッペ・トルナトーレ  
出演:フィリップ・ノワレ、ジャック・ペラン、  
サルヴァトーレ・シチオ

映画監督サルヴァトーレの胸に去来するのは、故郷シチリアで村中が熱狂した映画の上映と、映写技師アルフレードとの友情だった…。名画の数々が散りばめられ、映画を愛するすべての人にとって宝物のような一作。モリコーネによる情感溢れる主題曲も名高い。

○11日13:30の回(特別上映)

野いちご

2月21日(火) 10:30  
23日(木) 14:00、26日(日) 14:00



1957年/スウェーデン/白黒/blu-ray/91分  
監督:イングマル・ベルイマン  
出演:ヴィクトル・シェーストレム、イングリッド・  
チュリン、ビビ・アンデション

孤独な晩年を送る偏屈な医者イーサクが、名誉学位の授与式へと向かう1日の道中を、夢や追憶などの心象風景を交えつつ描く。巨匠ベルイマンが、スウェーデン映画の父と呼ばれるシェーストレムを主演に迎え、死や老い、家族など普遍的なテーマを扱った代表作。

バベットの晩餐会

2月21日(火) 14:00、23日(木) 10:30、  
24日(金) 14:00、26日(日) 10:30



1987年/デンマーク/カラー/DCP/104分  
監督:ガブリエル・アクセル  
出演:ステファヌ・オードラン、ビルギット・  
フェグスビール、ボヂェル・キユア

デンマークの村で敬虔に慎ましく暮らす姉妹のもとに、ある時フランスから革命ですべてを失った女性が現れる。彼女の正体は…そして彼女が起こす奇跡とは…? ストイックな画面がこの上なく幸福なラストで満たされる。アカデミー賞最優秀外国語映画賞受賞。

ベルリン・天使の詩

2月22日(水) 14:00  
24日(金) 10:30、25日(土) 13:30



1987年/西ドイツ=フランス/カラー/blu-ray/128分  
監督:ウィム・ヴェンダース  
出演:ブルーノ・ガンツ、ソルヴィグ・ドマルタン、  
オットー・ランダー

行き交う人々の心の声を聞きつつ、ベルリンの街を見守ってきた天使ダミエルは、サーカスの空中ブランコ乗りマリオンに一目惚れし、人間になることを決心する…。都市ベルリンそのものを主役に紡がれる映像詩は、当時社会現象となり世界中で大ヒットを記録した。

○2月25日(土) 13:30の回終了後(ギャラリートーク)

愛と哀しみのボレロ

3月7日(火) 10:00/14:00  
8日(水)、9日(木) 13:30



1981年/フランス/カラー/DCP/185分  
監督:クロード・ルルーシュ  
音楽:ミシェル・ルグラン、フランシス・レイ  
出演:ロベール・オッセン、ニコール・ガルシア、ジェームズ・カーン、ジェラルディン・チャップリン

第二次世界大戦を挟んだ時間軸で、フランスからアメリカまで国を越え海を越えて、実在の芸術家たちをモデルに繰り広げられる壮大な歴史絵巻。すべての物語が一つの場所に収束するラストで、伝説のダンサー、ジョルジュ・ドロンが舞い踊る「ボレロ」は必見!

※途中休憩あり

リトル・ダンサー

3月10日(金) 10:30/14:00  
11日(土)、12日(日) 14:00



2000年/イギリス/カラー/DCP/111分  
監督:ステイヴン・ダルドリー  
出演:ジェイミー・ベル、ジュリー・ウォルターズ、  
ゲイリー・ルイス、ジェイミー・トラヴェン

ストライキに揺れるイギリスの炭鉱町で、少年ピーリーはひょんなことからバレエと出会い、その魅力にのめり込むように。だが、貧しく保守的な家庭の事情のせいでレッスンを受けるのもままならない。果たしてピーリーの前途は…? 世代を超えて愛され続ける大ヒット作!

※画・音の良好でないものがあります。場合によって上映素材・作品の要旨がありますことをご了承ください。

# 映画『杉原千畝 スギハラチウネ』 上映+アフタートーク



©2015/杉原千畝製作委員会

第二次大戦下、自らの意思で「命のビザ」を発給し、多くのユダヤ人を救った杉原千畝は、晩年を鎌倉で過ごし、この地に眠る、鎌倉ともゆかりの深い方です。2016年は没後30年にあたりこの機会に多くの方々に知っていただきたく、鎌倉市中央図書館との共催事業として杉原千畝に関する映画上映とトークイベントを開催します。

## 杉原千畝 スギハラチウネ

2015年/東宝/カラー/DCP/139分

監督：チェリン・ブラック

出演：唐沢寿明、小雪、ボリス・シッツ、アグニェシュカ・グロホフスカ、塚本高史、小日向文世

第二次大戦下、外交官としてリトアニアに赴任した杉原千畝。ナチスの迫害から逃れてきたユダヤ難民に日本通過ビザを発給し続け、6000人もの命を救ったその姿を壮大なスケールで描く。杉原千畝を唐沢寿明が演じ、戦後70年の節目に公開された話題作。

### 上映+アフタートーク スケジュール

1月20日(金)

1月21日(土)

1月22日(日)

10:00

※アフタートークは各回の上映後、休憩をはさみ約30分を予定しています。

「杉原千畝 命のリレー ブックトーク」  
(小中学生向き本の紹介)  
松石圭子さん(鎌倉市深沢図書館長)

※バリアフリー上映は  
目や耳の不自由な方のために、  
日本語字幕・音声ガイドが付いています。

13:30

\*日本語字幕付き上映

「杉原幸子さんとの出会い  
(インタビューでお会いして)」  
松石圭子さん(鎌倉市深沢図書館長)

「杉原千畝の命のバトンを繋いだ人  
～小辻節三～」  
杉並伸也さん(鎌倉市教育委員会)

\*バリアフリー上映

「映画と杉原千畝について  
語り合う映画談話室」

### ○優秀映画鑑賞推進事業○

## 雷蔵と錦之助……2人の時代劇ヒーロー

映画鑑賞料金：一般500円

小・中学生250円(入館料含む)

チケット発売日：1月21日(土)



### 眠狂四郎殺法帖

●2月3日(土)10:30 ●2月5日(日)14:00

1963年/大映/カラー/35mm/81分  
原作：柴田錬三郎 監督：田中徳三 出演：市川雷蔵、中村玉緒、城隍三郎(若山富三郎)

雷蔵の代表作として知られる「眠狂四郎シリーズ」の第一作。ころびバタレンと日本人の混血として生を受け、虚無と孤独の影をひいて生きる剣士・眠狂四郎を雷蔵が持ち前の端正な魅力で演じる。



### 反逆児

●2月4日(土)10:30

1961年/東映/カラー/35mm/110分  
原作：大佛次郎 監督：伊藤大輔 出演：中村錦之助、坂町弘子、東千代之介、月形龍之介

徳川家康の悲運の長男として史実に残る三郎信康の物語を、時代劇の巨匠伊藤大輔が格調高く描く。死を自らの運命として受け入れて切腹していくヒーローを錦之助がエネルギーに満ちた演技で演じる。



### 井天小僧

●2月3日(土)14:00

1958年/大映/カラー/35mm/86分  
原作：河竹黙阿弥 監督：伊藤大輔  
出演：市川雷蔵、青山京子、藤新太郎、中村錦治郎

時代劇映画のバイオニア、伊藤大輔監督が、雷蔵や勝新など気鋭のスターを起用して、歌舞伎で知られる「白波五人男」を映画化。雷蔵の艶やかな女装姿、御用提灯の火の海など見所満載!



### 首掛時次郎 遊侠一匹

●2月4日(土)14:00 ●2月5日(日)10:30

1966年/東映/カラー/35mm/90分  
原作：長谷川伸 監督：加藤泰 出演：中村錦之助、池内淳子、東千代之介、渥美清

大衆文学の巨匠、長谷川伸の脱獄もの映画化。渥美清演じる原作にないキャラクター、加藤泰監督の独自の映像美と人情味溢れる錦之助の名演により、屈指の名作として知られる。

### 映画談話室のお知らせ

当館では、スタッフが司会となり、見終わったばかりの映画についてお客様と語り合う《映画談話室》を、月に一度開催しています。(約30分)ご参加お待ちしております! (詳細はお問い合わせください。)

### チケット取り扱いお問い合わせ先

◆たらば書房 0467-22-2492

◆島森書店 鎌倉店 0467-22-0266

◆上州屋(大船駅前の文房具店) 0467-43-1000

主催/川喜多-KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

Kamakura City Kawakita Film Museum

鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL:0467-23-2500

HP:http://www.kamakura-kawakita.org

開館時間

9:00~17:00  
(入館は16:30まで)

休館日

毎週月曜日

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください

### 鎌倉市川喜多映画記念館

